新たに日本遺産に認定された『荒海を越えた男たちの

資料№2-1

夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落』について

　平成29年４月５日開催の日本遺産審査委員会の審議の結果、長岡市を含む全国11市町村が共同で申請した『荒海を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落』のストーリーが、文化庁から日本遺産に認定されました。概要は以下のとおりです。

名　　　称：『荒海を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落』

申　請　者：◎山形県酒田市、北海道函館市・松前町、青森県鯵ケ沢町・深浦町、秋田県秋田市、新潟県新潟市・長岡市、石川県加賀市、福井県敦賀市・南越前町

◎印は代表自治体

認定年月日：平成29年４月28日

ストーリー：日本海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。

構成文化財：（長岡市関係のみ）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 文化財の名称 | 指定等の状況 | ストーリーの中の位置づけ |
| 寺泊港の集落 | 未指定 | 北前船がもたらす富により人口集中が進んだ海岸沿いの集落。ぎっしり立ち並ぶ家並み、入り組む小路など独特の町並み |
| 寺泊おけさ | 未指定 | 北前船により伝えられた熊本のハイヤ節が起源とされる芸能 |
| 聖徳寺庭園 | 市指定名勝 | 北前船で運ばれた大和の石を用いて、京都の庭師が築いた庭園 |
| 白山媛神社奉納船絵馬 | 国指定有形民俗 | 北前船船主たちが奉納した52面の船絵馬 |

そ　の　他：長岡市としては、平成に28年度の『「なんだ、コレは！』信濃川流域の火焔型土器と雪国の文化』に続いて、２年連続の認定です。